



USER'S MANUAL

54Mbps 高速無線LAN アクセスポイント

GW-AP540a

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

54Mbps 高速無線LAN アクセスポイント

GW-AP540a

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



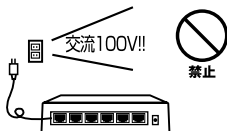
雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



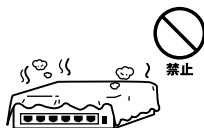
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



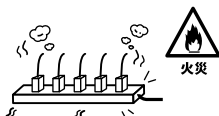
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。

万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解（アンテナ部分を含む）
- ・適合証明ラベルの剥離

- 1.本製品で使用する1～4チャンネルの周波数帯は、衛星携帯電話や気象レーダー、高速道路の自動料金徴収システム（ETC）などでも利用されているため電波法により室内でのみ使用可能です。

使用周波数帯域・・・・・・・・・・・・・・・・・・5.2GHz
変調方式・・・・・・・・・・・・・・・・・・OFDM方式
周波数変更の可否5.170～5.230GHzまでの帯域を使用し20MHz間隔ごとに4CHの変更が可能です。

- 2.万一、電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。
- 3.その他、何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 4.本製品の使用する5GHz帯は電波法のより屋外での使用を禁じられていますので、ご使用なさらぬようご注意ください。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

.....

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

.....

第2章 インストール

本製品をコンピュータにインストールする際の手順について説明します。

第3章 アクセスポイントを設定するための準備

アクセスポイントを設定するための準備について説明します。

第4章 アクセスポイントの設定

アクセスポイントの設定方法を説明します。

付録

.....

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

付録C 設置環境への注意

設置環境への注意について説明します。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

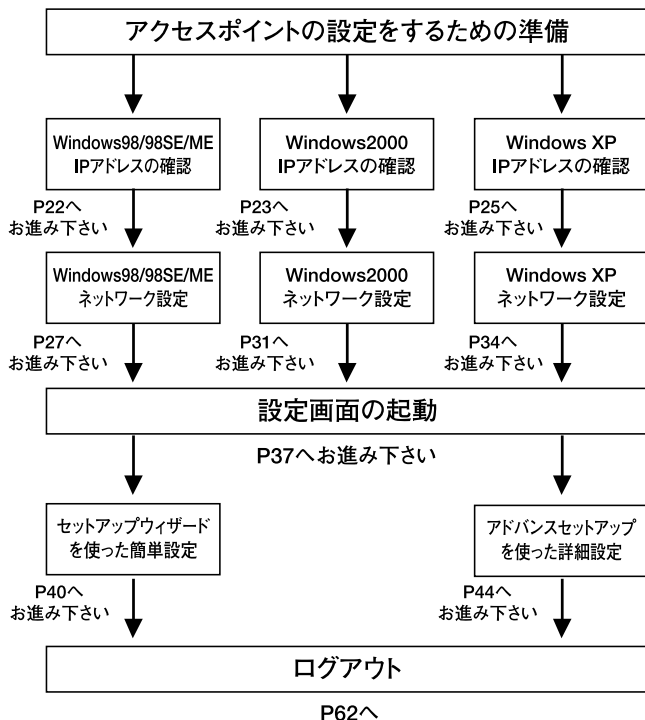
記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
ご使用前にお読み下さい	4
設定までの流れ	8
第1章 はじめに	
1.概要	9
2.特長	11
3.梱包内容の確認	12
4.各部の名称	13
第2章 インストール	
1.設置場所について	17
2.設置	18
3.電源の接続	19
4.アクセスポイントとハブの接続	20
第3章 アクセスポイントを設定するための準備	
1.コンピュータのIPアドレスの確認	21
2.ネットワークの設定	27
第4章 アクセスポイントの設定	
1.設定画面の起動	37
2.セットアップウィザードを使った設定	40
3.アドバンスドセットアップを使った設定	44
4.セキュリティの設定	52
5.アクセスポイントの状態	60
6.ログアウト	62

付録A	トラブルシューティング	63
付録B	仕様	71
付録C	設置環境への注意	73
	ユーザー登録について	78
	弊社へのお問い合わせ	79
	弊社へのお問い合わせ	80
	保証規定	82

設定までの流れ



はじめに

1 概要

本製品は54Mbpsのワイヤレスネットワークを構築するための機器です。

本製品を使うことで既存の有線ネットワークを利用したワイヤレスネットワークをシームレスに構築することができます。

IEEE802.11およびIEEE802.11aに準拠し、伝送速度は最大で54Mbpsに対応しています。

ローミング機能によって、異なるアクセスポイント間を移動してもアクセスポイントを再認識させることなく使うことができます。

WEPやMACアドレスフィルタリングの機能を使うことによって、堅牢なセキュリティを保つことができます。

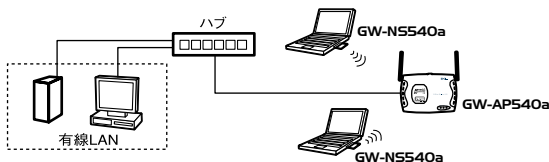


図1-1 無線LAN構築図

本製品とIEEE802.11b準拠の無線LAN機器（GeoWaveシリーズ）とは使う周波数帯域が異なり、互換がありません。ご注意ください。

本製品が使う5.2GHzの周波数帯域は電波法によって屋外での使用は禁じられています。屋外で使えなそうようご注意ください。

2 特長

IEEE802.11/802.11a 準拠

IEEE802.3 10BASE-T /802.3u 100BASE-TX 準拠

ノイズの影響を受けにくいOFDM方式

5.2GHz周波数帯を使用

4チャンネルサポート

最大54Mbpsの高速な無線通信に対応

54/48/36/24/18/12/6Mbpsを自動認識

他の無線機の干渉を受けない

WEP、MACアドレスフィルタリング機能によって堅牢なセキュリティを実現

高感度アンテナを搭載し、54Mbps使用時に最大18mの伝送が可能
(屋内使用時、見通し距離)

環境により上記距離を満たせない場合があります

無指向性アンテナ採用

接続状況が簡単に確認出来る3つのLEDを装備

異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能に対応

WEBブラウザからの簡単設定

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

GW-AP540a 無線LANアクセスポイント
ACアダプタ
ドライバ/ユーティリティCD-ROM 1枚
壁取り付け用金具
このユーザーズマニュアル
保証書（ユーザーズ マニュアルの最後にあります）

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまで連絡してください。

4 各部の名称

1

はじめに

GW-AP540aにはデータを受信するための可動式のアンテナがあります。

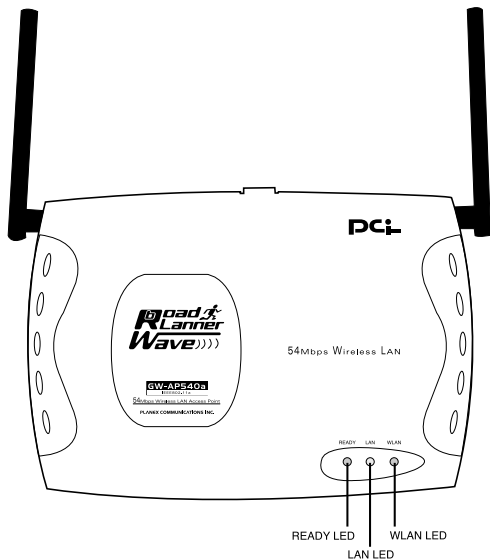


図1-2 GW-AP540a前面図

本製品前面にはアクセスポイントのステータスを表示する3つのLEDを備えています。

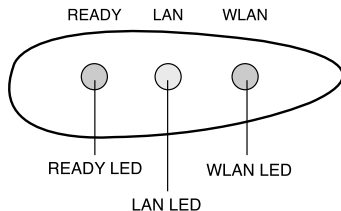


図1-3 GW-AP540a LED

< READY LED >

本製品の電源を入れると点灯します。
セルフテスト中またはプログラムのロード中は点滅します。

< LAN LED >

- ・ 緑色で点灯時
- ・ 緑色で点滅時

100MbpsでLINKしています。

アクセスポイントが、100Mbpsでデータを送受信しています。点滅の速さは送受信の速度に比例します。

- ・ オレンジで点灯時
- ・ オレンジで点滅時

10MbpsでLINKしています

アクセスポイントが、10Mbpsでデータを送受信しています。点滅の速さは送受信の速度に比例します。

< WLAN LED >

- ・点灯時 無線接続が有効です。
- ・遅い点滅時 待機状態です。
- ・早い点滅時 アクセスポイントが、無線経由でデータを送受信しています。

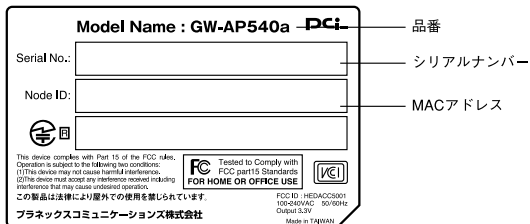


図1-4 GW-AP540a裏面

< 品番 >

本製品の製造型番です。

< シリアルナンバー >

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

< MACアドレス >

本製品のMACアドレス（物理アドレス）です。

インストール

2

インストール

1 設置場所について

本製品を設置する際は、必ず以下の点を守ってください。

湿気の多い場所に設置しない

チリやほこりの多い場所に設置しない

直射日光のあたる場所や温度の高い場所に設置しない

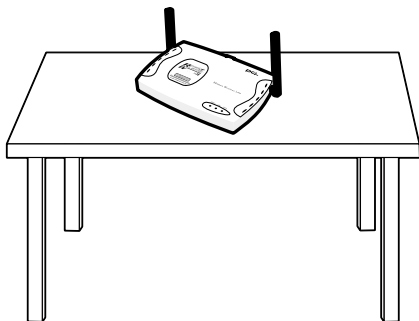
内部に熱がこもる原因となるため、周囲はなるべく空間を空ける
本製品が使う5.2GHzの周波数帯域は電波法によって屋外での使用は禁じられています。屋外で使用なさぬようご注意ください。

2 設置

本製品は、デスク上などの平らな場所に設置してください。

平らな場所に設置する場合

1. デスク上などの平らな場所に設置します。
2. 本製品のアンテナを調節します。

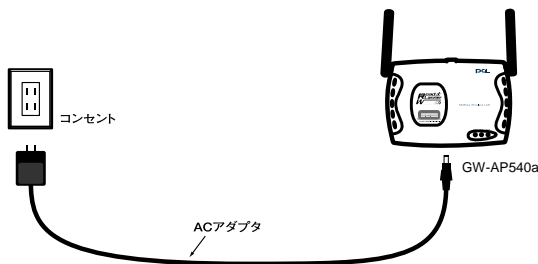


注意

本製品は付属の壁取り付け金具を使用することにより、壁面への取り付けができます。

3 電源の接続

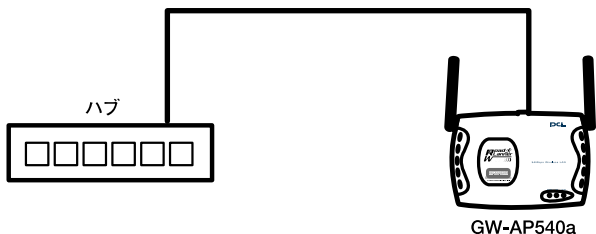
1. 本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタを接続します。
2. ACアダプタをAC100Vの電源コンセントに接続します。
3. 本製品前面図のREADY LEDが点灯します。点灯しないときは、ACアダプタの接続を確かめてください。
ACアダプタは必ず付属されているものを使用してください。
付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作などの原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。



4 アクセスポイントとハブの接続

ワイヤレスネットワークを既存の有線ネットワークに接続するためには本製品をハブと接続する必要があります。

1. ストレート結線されたLANケーブルを用意してください。
ケーブルの最大長は100mです。
2. LANケーブルの一端をハブの標準ポートに接続します。
3. LANケーブルの一端を本製品のLANポートに接続します。
接続先の機器が正しく動作していれば、本製品前面のLAN LEDが点灯します。



アクセスポイントを設定するための準備

3

アクセスポイントを設定するための準備

この章ではGW-AP540aを設定するためのコンピュータのネットワーク設定について説明します。

本製品を使いワイヤレスネットワークを構築する際は、アクセスポイントの設定を行う必要があります。設定は有線LAN側、無線LAN側どちらからでもできます。

アクセスポイントの設定はコンピュータのブラウザから行います。以下の手順に従い、ご利用のコンピュータのネットワーク設定を確認してください。

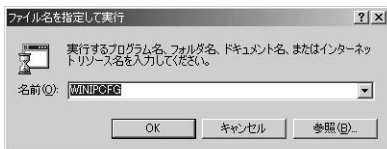
1 コンピュータのIPアドレスの確認

コンピュータのIPアドレスを確認します。本製品のIPアドレスのデフォルト値は「192.168.1.20」です。

コンピュータのIPアドレスが、「192.168.1.1～254」の間で設定されており、本製品のIPアドレスと重複していない場合は、ネットワーク設定を変更する必要はありません。『第4章 アクセスポイントの設定』を参照し、アクセスポイントを設定してください。

Windows 98/98 SE/MeのIPアドレスの確認

1. 「スタート」メニューボタンをクリックし「ファイル名を指定して実行」を選択してください。
2. 「ファイル名を指定して実行」の画面が開きましたら「名前」欄に「WINIPCFG」と入力してください。「OK」ボタンをクリックします。「IP設定」の画面が表示されます。



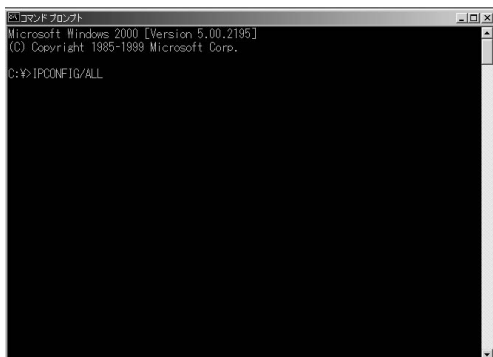
3. 「Ethernet アダプタ情報」のプルダウンリストから、使用中のLANアダプタを選択してください。



4. 「IPアドレス」に表示されている数字を確認してください。
5. 確認後、「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows 2000のIPアドレスの確認

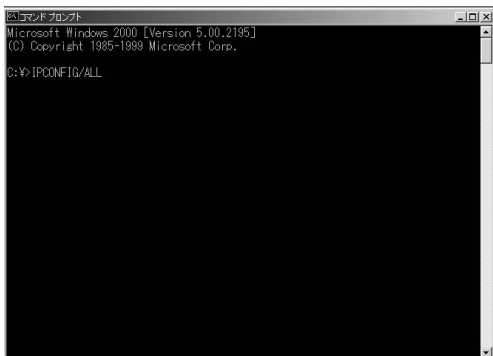
1. 「スタート」メニューボタンをクリックし「プログラム」
「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」と選択してください。
2. 「コマンドプロンプト」ウィンドウが開きましたら、「C :
¥>」に次に「IPCONFIG /ALL」と入力し、<Enter>キー
を押してください。



3

アクセスポイントを設定するための準備

3. 「Ethernet adapter」欄下の「IP Address」に表示されている数字を確認してください。



4. 確認後、「EXIT」と入力し<Enter>キーを押してください。

3

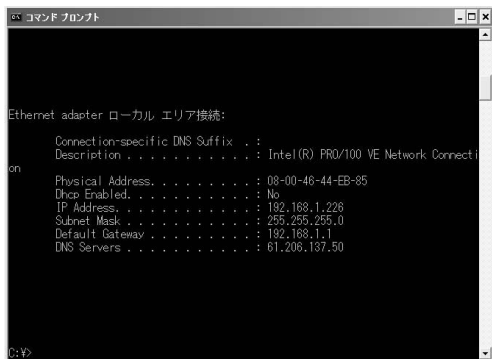
アクセスポイントを設定するための準備

Windows XPのIPアドレスの確認

1. 「スタート」メニューボタンをクリックし「すべてのプログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」を選択してください。
2. 「コマンドプロンプト」ウィンドウが開きました「C: ¥>」の次に「IPCONFIG /ALL」と入力し、<Enter>キーを押してください。



3. 「Ethernet adapter」欄下の「IP Address」に表示されている数字を確認してください。



4. 確認後、「EXIT」と入力し<Enter>キーを押してください。

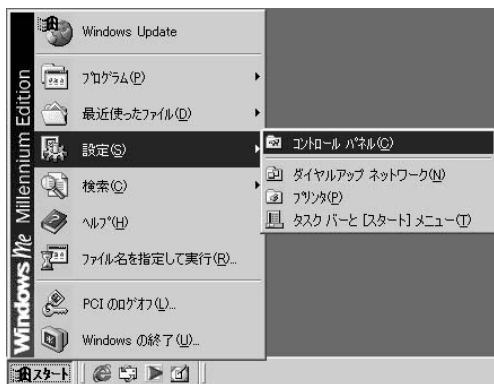
2 ネットワークの設定

コンピュータにTCP/IPがインストールされていることを確認してください。

コンピュータにLANアダプタまたは無線LANアダプタがインストールされ正常に認識されているのを確認してください。インストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照しインストールを行ってください。

Windows 98/98 SE/Me

1. 「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」を選択してください。「コントロールパネル」の画面が表示されます。

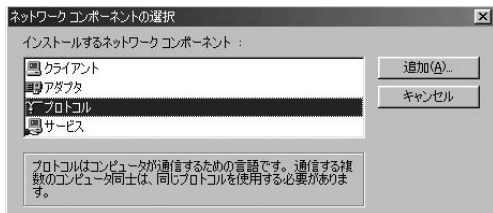


2. 次に「ネットワーク」のアイコンをクリックしてください。「ネットワーク」の画面が表示されます。

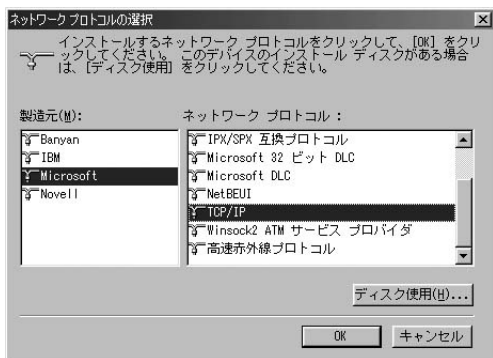
3. 「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされてる場合は手順「6.」へ進んでください。
- 「TCP/IP」を選び、[プロパティ] をクリックします。
- 「TCP/IPのプロパティ」が表示されます。



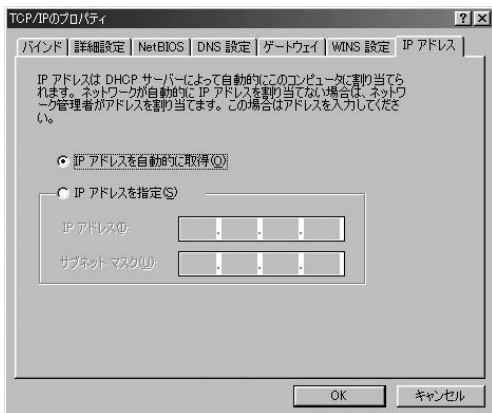
4. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウから「製造元」に「マイクロソフト」を選択し「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。



6. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」が表示されるので「IPアドレス」のタブをクリックしてください。



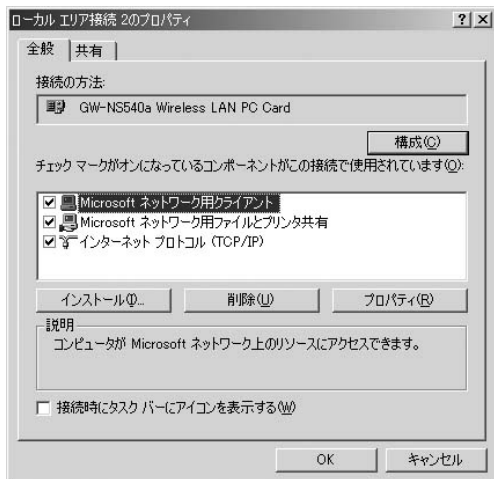
7. 画面内の「IPアドレスの指定」オプションを選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1～19、21～254の任意の値) サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力してください。「OK」ボタンをクリックしてからコンピューターを再起動してください。

⚠ 注意

本製品のIPアドレス「192.168.1.20」や他のコンピューターと重複しないIPアドレスを入力してください。

Windows 2000

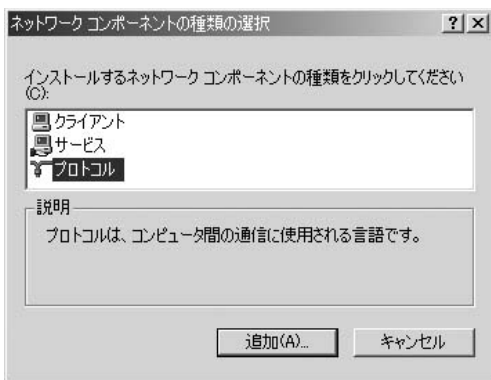
1. 「スタート」メニューから「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択してください。「ネットワークとダイヤルアップ接続」の画面が表示されます。
2. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の画面から「ローカルエリア接続」を選択し、「ファイル」から「プロパティ」を選択してください。「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面が表示されます。



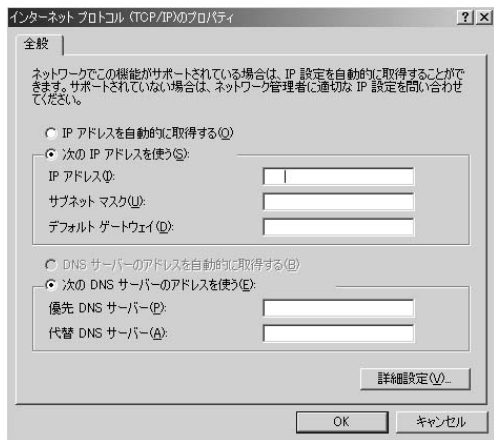
3

アクセスポイントを設定するための準備

3. 「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確認してください。インストールされてる場合は手順「6.」に進んでください。
4. インストールされていない場合は「インストール」ボタンをクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類を選択」から「プロトコル」を選択し「追加」ボタンをクリックしてください。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」一覧から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。
6. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので「次のIPアドレスを使う」オプションを選択してください。IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1～19、21～254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力してください。「OK」ボタンをクリックしてください。



7. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。

⚠ 注意

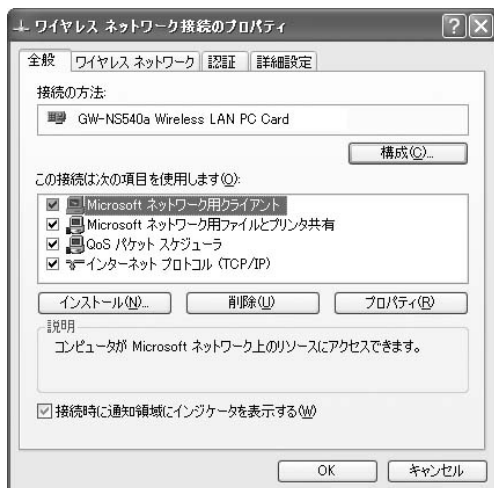
本製品のIPアドレス「192.168.1.20」や他のコンピューターと重複しないIPアドレスを入力してください。

Windows XP

3

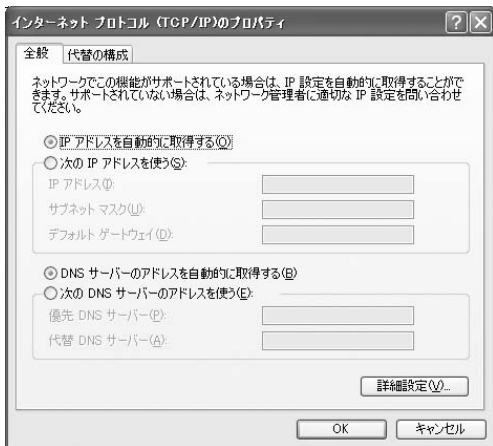
アクセスポイントを設定するための準備

1. 「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を選択してください。「その他」の欄から「マイネットワーク」をクリックしてください。
2. 「ネットワークタスク」の欄から「ネットワーク接続を表示する」をクリックしてください。「ネットワーク接続」の画面が表示されます。
3. 「ネットワーク接続」の画面からご使用のネットワークの接続を選択し、「ファイル」から「プロパティ」を選択してください。「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面が表示されます。



4. 「この接続は次の項目を使用します」の欄に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されていて、チェックボックスがオンになっていることを確認してください。
5. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」のチェックボックスがオフの場合はオンにしてください。

6. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので「次のIPアドレスを使う」オプションを選択してください。IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1～19、21～254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力してください。「OK」ボタンをクリックしてください。



7. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。

⚠ 注意

本製品のIPアドレス「192.168.1.20」や他のコンピューターと重複しないIPアドレスを入力してください。

アクセスポイントの設定

こ

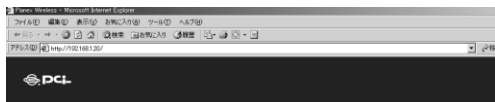
の章ではGW-AP540aの設定について説明します。

4

アクセスポイントの設定

1 設定画面の起動

1. ブラウザを起動します。
2. 本製品のIPアドレスをブラウザのアドレス欄に入力します。
本製品のIPアドレスのデフォルト値は「192.168.1.20」です。
3. 設定画面がブラウザに表示されます。



4. アクセスポイントの設定画面にアクセスするために、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードのデフォルト値はそれぞれ「Admin」、「5up」です。パスワードは画面上では*で表示されます。(ユーザー名とパスワードはお客様で変更することができます。)

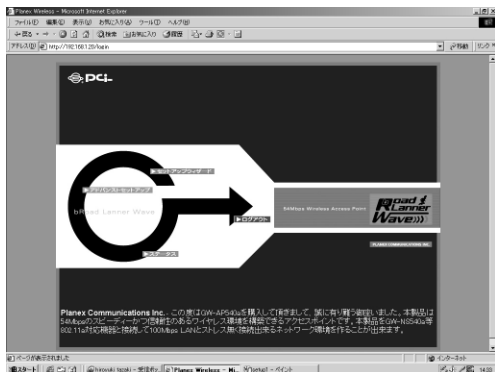
ユーザーIDとパスワードの入力

ユーザー名:	<input type="text" value="Admin"/>
パスワード:	<input type="password" value="***"/>
<div><input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/></div>	

**注意**

ユーザー名とパスワードは大文字、小文字が区別されます。

5. アクセスポイントの設定画面が表示されます。

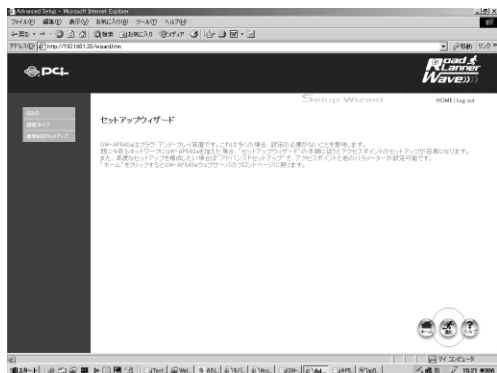


4

アクセスポイントの設定

2 セットアップウィザードを使った設定

1. 「セットアップウィザード」をクリックすると、セットアップウィザードの設定画面が表示されます。



2. 画面右下の「進む」で設定を進めます。

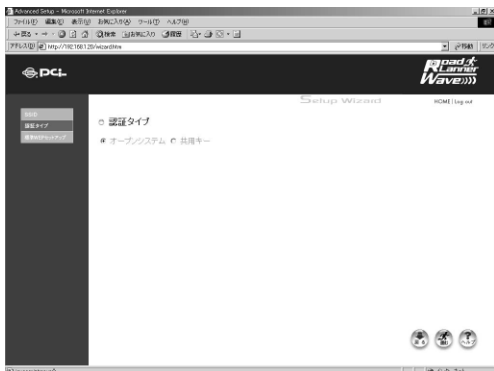
3. 「SSID」を設定します。SSIDはワイヤレスクライアントを特定のAPに接続させたい場合に有効です。クライアントとアクセスポイントのSSIDを同じ値に設定する事でクライアントはそのアクセスポイントのみに接続します。デフォルト値から変更して使用することをおすすめします。



注意

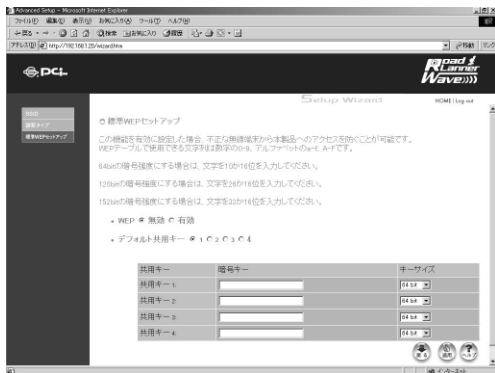
SSIDは大文字、小文字が区別され最長で32文字までの英数字で構成してください。

4. 「認証タイプ」を設定します。WEPの認証タイプは接続する全ての無線機器で合わせる必要があります。



5. 「WEP」を設定します。WEP機能を有効にする場合は有効にチェックをします。
6. 「キーサイズ」を設定します。WEPキーサイズを64bitまたは128bitまたは152bitから選択します。

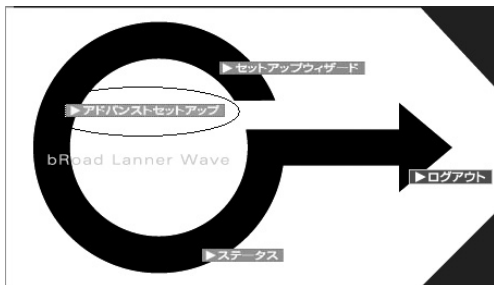
7. 「暗号キー」を設定します。64bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0~9,A~F)で10文字の任意の値を入力します。128bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0~9,A~F)で26文字の任意の値を入力します。152bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0~9,A~F)で32文字の任意の値を入力します。暗号キーは接続する全ての無線機器で合わせる必要があります。



8. 全ての設定が終了したら、「適用」ボタンをクリックしてください。「設定を保存します」画面が表示されましたら「再起動」ボタンを押してください。再起動後に設定が反映されます。

3 アドバンスドセットアップを使った設定

「アドバンスドセットアップ」をクリックすると以下の画面が表示されます。



⚠ 注意

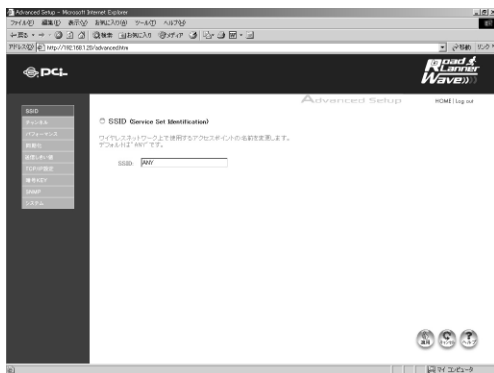
この「アドバンスドセットアップ」でGW-AP540aの現在の設定が参照できます。また各項目の値の変更も可能です。設定を変更する場合は、各項目の値を変更後、「適用」をクリックし、その後「再起動」をクリックしアクセスポイントを再起動します。再起動後、変更された設定は有効になります。

SSIDの設定

SSIDはワイヤレスクライアントを特定のAPに接続させたい場合に有効です。クライアントとアクセスポイントのSSIDを同じ値に設定する事でクライアントはそのアクセスポイントのみに接続します。デフォルト値から変更して使用することをおすすめします。

⚠ 注意

SSIDは大文字、小文字が区別され最長で32文字までの英数字で構成してください。



4

アクセスポイントの設定

チャンネルの設定

アクセスポイントの使用するラジオチャンネルです。日本の規格では4チャンネル（34、38、42、46）となっています。またクライアント側（GW-NS540aを装着したノートパソコンなど）は自動的にアクセスポイントと同じチャンネルにセットされます。

4

アクセスポイントの設定



パフォーマンスの設定

1.「データレート」の設定をします。

ネットワークの送受信を最適化するには「ベスト」を選びます。

2.「送受信パワー」の設定をします。

アクセスポイントの信号強度をセットします。送受信の距離が長いとそのための要求パワーも高くなります。デフォルト値は「最大」です。



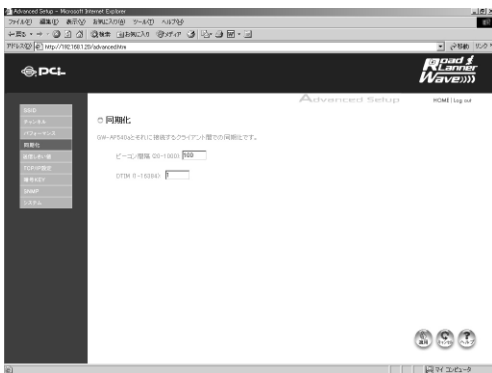
同期化の設定

アクセスポイントとそれに接続するクライアント間の同期化の項目です。

1. 「ビーコン間隔」の設定をします。

無線LANのクライアントは、ビーコン信号の状態がよいアクセスポイントに接続します。ビーコンの間隔を短くすると、アクセスポイントの認識時間を短くし、また、ローミングをすばやくすることができますが、データの送信時間に影響をあたえます。デフォルト値は「100」です。

2. 「DTIM」の設定をします。DTIMは放送信号のついた2つのシンクロナスフレーム間の間隔です。値を「2」にすると、アクセスポイントは全ての同報通信フレームを第2ビーコン毎に送信します。DTIM間隔を短くすると、端末は受信状態を継続して同報データを受信しつづけます。デフォルト値は「1」です。



送信しきい値

フラグメントしきい値とRTSしきい値を設定します。

1. 「フラグメントしきい値」を設定します。すべてのパケットは送信しきい値で設定された値以下のサイズに分割されます。送信しきい値の値を小さくすると、無線LAN上のすべてのクライアントが通信をする確率が高くなりますが、オーバーヘッドが増えるためスループットが低下します。送信しきい値の値を大きくすると、スループットは上がりますが、ひとつのクライアントが通信を占有する時間が長くなるため、他のクライアントが通信をする確率が少なくなります。
2. 「RTSしきい値」を設定します。アクセスポイントは、RTSしきい値で設定された値を超えるパケットを送信しようとすると、RTS/CTS機能を有効にします。RTS/CTS機能を使うことで、クライアントは他が通信をしていないときにパケットを送信するため、スループットが向上します。



TCP/IP 設定

インターネットにアクセスするためのTCP/IPを設定します。本製品はDHCPサーバ機能を持っており、ネットワーク上のIPアドレスを管理できます。

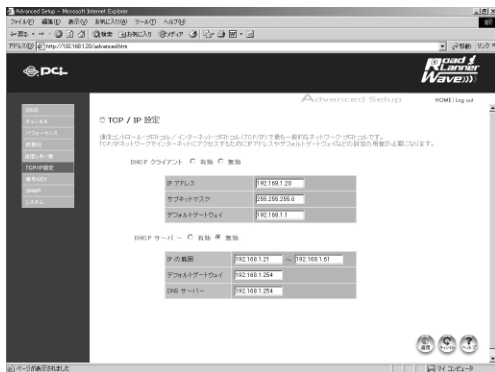
この機能によってクライアント側のネットワークセットアップの時間を節約することができます。

4

アクセスポイントの設定

- 1.「DHCPクライアント」の設定をします。DHCPクライアント機能を使う場合は「有効」、使わない場合は「無効」にチェックします。デフォルトは「有効」です。
- 2.「IPアドレス」の設定をします。IPアドレスを固定にする場合にはここにIPアドレスを入力します。デフォルト値は「192.168.1.20」です。
- 3.「サブネットマスク」の設定をします。IPアドレスを固定にする場合にはここにサブネットマスクを入力します。デフォルト値は「255.255.255.0」です。
- 4.「デフォルトゲートウェイ」の設定をします。IPアドレスを固定にする場合にはここにデフォルトゲートウェイを入力します。デフォルト値は「192.168.1.1」です。
- 5.「DHCPサーバー」の設定をします。DHCPサーバー機能を使う場合は「有効」、使わない場合は「無効」にチェックします。デフォルト値は「無効」です。
- 6.「IPの範囲」の設定をします。DHCPサーバー機能により自動的に割り当てられるIPアドレスの範囲を入力します。デフォルト値は「192.168.1.21」～「192.168.1.61」です。

7. 「デフォルトゲートウェイ」の設定をします。ブロードバンドルーターに接続する場合はブロードバンドルーターのIPアドレスを入力してください。デフォルト値は「192.168.1.61」です。
8. 「DNSサーバー」の設定をします。プロバイダーから指定されたDNSアドレスを入力します。デフォルト値は「192.168.1.254」です。



4 セキュリティーの設定

WEPキー、MACアドレスフィルタリングを使ったセキュリティーの設定を行ないます。

WEPキーの設定

無線LANへの不正アクセスを防ぐための暗号KEY（WEP）を設定できます。

WEPの設定は、アクセスポイント側とクライアント側の両方を同じ値にしなければなりません。

1. メニューから「暗号KEY」をクリックします。

2. 認証タイプを設定します。

認証タイプを「オープンシステム」、「共用キー」から選びます。デフォルト値は「オープンシステム」です。共用キーを有効にすると、WEPを有効にし、少なくともひとつの「共用キー」を設定すべきです。

WEPを有効にし、認証タイプを「オープンシステム」に設定することもできます。

3. WEPを設定します。

WEP機能の有効、無効を選択します。デフォルト値は「無効」です。

デフォルト共用キーから使用する共用キーを選びます。

4. WEPキーを設定します。

「キーサイズ」をクリックし、使用する暗号化のキー長を選択します。

次に「暗号キー」を入力します。

暗号キーは16進数（0～9、a～fの任意の値）で入力することが出来ます。

- ・ 64bit：16進数で10文字を入力します。
- ・ 128bit：16進数で26文字を入力します。
- ・ 152bit：16進数で32文字を入力します。

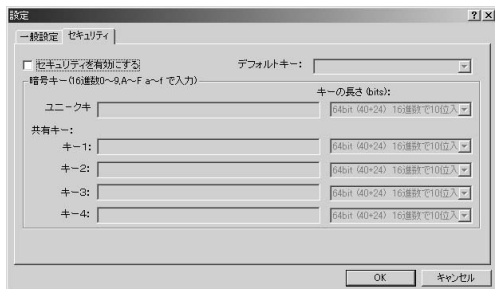


5. 「適用」をクリックします。

参考

WEPキーを無線カードに設定します。(例はGW-NS540aです)

1. セキュリティーを有効にするにチェックを付けます。
2. 「キーの長さ」をクリックし、使用する暗号化のキー長を選択します。
3. 「暗号キー」にアクセスポイントで設定した値を入力します。
暗号キーは16進数(0~9、a~fの任意の値)で入力することが出来ます。
4. 「デフォルトキー」をクリックし、使用するキーを選択します。
*共有キーを1つしか入力してないときは、自動的に選択されます。
5. 「OK」をクリックします。



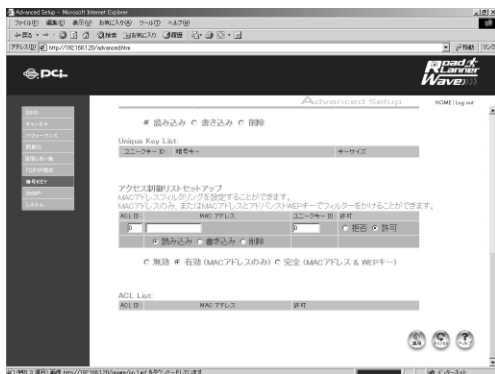
アドバンスドWEPの設定

WEPキーとユニークキーを合わせた、強固な暗号化を行ないます。
また、MACアドレスを登録する事により特定のMACアドレスのアクセスを制御します。

1. 「ユニークキーID」をクリックし、5～64までのユニークキーIDを選択します。
2. 「キーサイズ」をクリックし、64bit、128bit、152bitから適したキーサイズを選択します。
3. 次に「暗号キー」を入力します。「書き込み」にチェックを付け、「適用」をクリックします。暗号キーが保存されます。暗号キーを読み込むときは、ユニークキーIDを選択し「読み込み」にチェックを付け、「適用」をクリックします。暗号キーを取り消したいときは、ユニークキーIDを選択し「削除」にチェックを付け、「適用」をクリックします。
4. 「Unique Key List」に暗号キーが追加されてれば、ユニークキーの設定は完了です。

4

アクセスポイントの設定

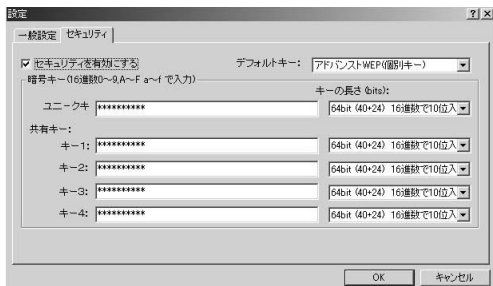


5. 次にアクセス制御の登録をします。
6. 登録するMACアドレスを「MACアドレス」欄に入力します。
使用するユニークキーIDを「ユニークキーID」欄に入力します。
アクセスを許可する場合は、「許可」にチェックを付けます。
拒否する場合は、「拒否」にチェックを付けます。
7. 「有効（MACアドレスのみ）」または「完全（MACアドレス&WEPキー）」にチェックを付けます。「書き込み」にチェックを付け、「適用」をクリックします。
アクセス制御リストが保存されます。
「有効」を選択した場合は共用キーのあるクライアントはアクセスポイントと通信が出来ます。
「完全」を選択した場合はアクセスポイントにMACアドレスが登録されているクライアントだけ通信出来ます。
8. 「ACL List」にMACアドレスが追加されてれば、アクセス制御の設定は完了です。

参考

WEPキーを無線カードに設定します。(例はGW-NS540aです)

1. セキュリティーを有効にするにチェックを付けます。
2. 「キーの長さ」をクリックし、使用するユニークキーのキー長を選択します。
3. 「ユニークキー」にアクセスポイントで設定した値を入力します。
4. 「キーの長さ」をクリックし、使用する暗号化のキー長を選択します。
5. 「暗号キー」にアクセスポイントで設定した値を入力します。
暗号キーは16進数(0~9、a~fの任意の値)で入力することが出来ます。
6. 「デフォルトキー」をクリックし、「アドバンストWEP(個別キー)」を選択します。
7. 「OK」をクリックします。



SNMP

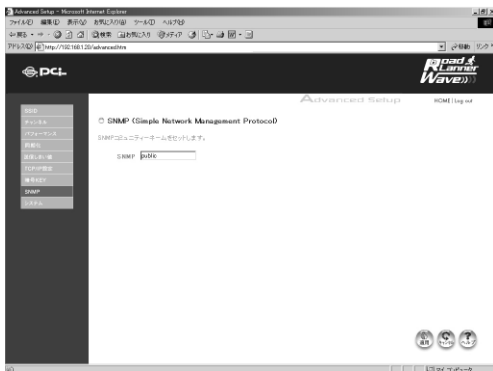
SNMPのコミュニティ記号列を表示、入力することができます。

⚠ 注意

SNMPとは、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

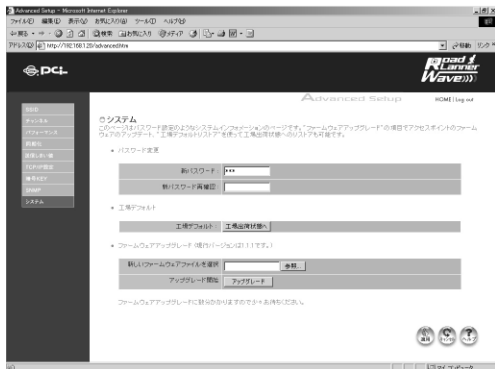
4

アクセスポイントの設定



システム

1. 「新パスワード」に新パスワードを入力することでパスワードの変更ができます。
2. 「工場出荷状態」ボタンをクリックすることで工場出荷時の状態に戻します。工場出荷時の設定に戻したいときは、「工場出荷状態へ」をクリックし、アクセスポイントを再起動します。
設定したすべての設定は消去され、出荷時の設定になります。
3. 「ファームウェアアップグレード」でファームウェアをアップグレードします。
ファームウェアをダウンロードします。最新のファームウェアは弊社ホームページ（<http://www.planex.co.jp/>）からダウンロードすることができます。
「参照」をクリックし、ダウンロードしたファームウェアを選びます。アップグレードをはじめるには、「アップグレード」をクリックします。

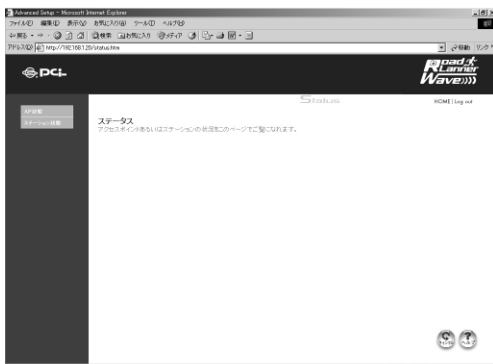
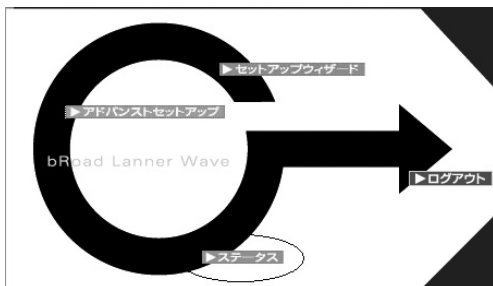


5 アクセスポイントの状態

アクセスポイントあるいはステーションの状態を表示します。

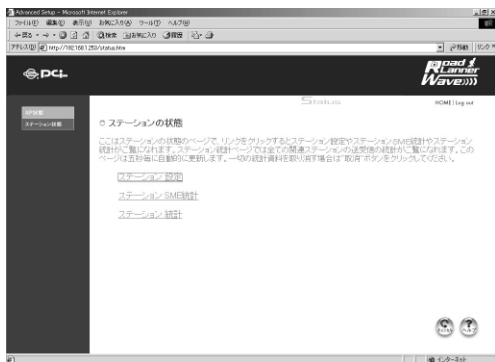
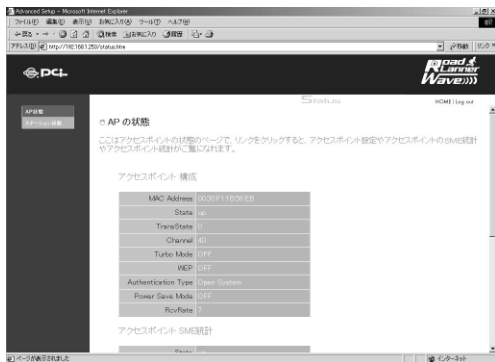
ステータス

メイン画面から「ステータス」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



APの状態、ステーションの状態

アクセスポイントの状態、送受信の統計などが参照できます。



4

アクセスポイントの設定

6 ログアウト

アクセスポイントの設定を終了します

1. 「ログアウト」 ボタンをクリックします。
2. 「OK」 ボタンをクリックします。

トラブルシューティング

こ こでは無線LANの構築で発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

無線LANアダプタ（GW-NS540a）はACPIに対応していますか

ACPIに対応しています

無線LANアダプタが動作しません

無線LANアダプタをコンピュータにさし直してください
コンピュータの電源を切り、GW-NS540aの『アダプタのインストール』手順を参照し正しくセットしてください。

無線LANアダプタのPower LEDは点灯していますか
消灯している場合は、電力が供給されていません。コンピュータが省電力モードになっている場合は起動してください。

無線LANアダプタのLEDが交互に点滅していますか
無線LANアダプタがアクセスポイントを探している状態です。引き続き見つからない場合は、GW-NS540aの『アダプタのインストール』手順を参照し、無線LANアダプタを取り外し、再び取り付けてください。無線LANアダプタのLEDの状態は、GW-NS540aの『はじめに』を参照してください。

アクセスポイントのREADY LEDは点灯していますか
消灯している場合は、アクセスポイントの電源が正しく接続されているか確かめてください。点滅している場合は、セルフテスト中またはプログラムのロード中です。点灯するまでしばらく待ってください。アクセスポイントのLEDの状態は、GW-AP540aの『はじめに』を参照してください。

無線LANアダプタのドライバがインストールできません

無線LANアダプタはデバイスマネージャに表示されていますが
表示されていない場合は、無線LANアダプタがコンピュータに認識されていません。無線LANアダプタを正しくセットしてください。
表示されているが、「?」や「!」マークが表示されている場合は、ドライバが正しくインストールされていません。GW-NS540aの『インストールの確認』手順を参照し正しくドライバをインストールしてください。

ドライバのインストールはOSのCD-ROMが必要な場合があります
ドライバのインストールは、ドライバ/ユーティリティCD-ROMとOSのCD-ROMを用意してください。GW-NS540aの『ドライバインストール』のインストールの確認を参照し正しくドライバをインストールしてください。

「バージョンが違う」と表示されていますか
ドライバインストール時にバージョン相違のメッセージが表示される場合があります。[はい] または [OK] をクリックし、インストールを続けてください。

既にドライバがインストールされていませんか
GW-NS540aの『ドライバインストール』のドライバの削除方法を参照し、ドライバを削除します。その後、ドライバのインストールをしてください。

無線通信ができません

無線LANアダプタのNetwork LEDは点灯していますか
無線LANアダプタのLEDが交互に点滅しているときはアクセスポイントを探している状態です。引き続き見つからない場合は、GW-NS540aの『アダプタのインストール』手順を参照し、無線LANアダプタを取り外し、再び取り付けてください。無線LANアダプタのLEDの状態は、GW-NS540aの『はじめに』を参照してください。

アクセスポイントのWLAN LEDは点灯していますか
消灯している場合は、無線LANのリンクは無効です。アクセスポイントのLEDの状態は、GW-AP540aの『はじめに』を参照してください。

ネットワークタイプはありますか
ご利用のネットワークにあわせ、アドホックまたはインフラストラクチャを設定してください。GW-NS540aの『カードアダプタの設定』手順を参照し正しく設定してください。

セキュリティの設定をしましたか

WEP機能を使っている場合は、無効にして接続できるか確かめます。GW-NS540aの『カードアダプタの設定』、GW-AP540aの『アクセスポイントの設定』手順を参照し、WEP機能を無効に設定してください。

セキュリティを有効にする場合は気をつけてください

WEP機能を使っている場合は、ご利用の無線LAN機器どうして同じ値を設定しなければなりません。はじめにアクセスポイント側のセキュリティを設定し、次に無線LANアダプタ側のセキュリティを設定してください。

アクセスポイントのMACフィルタを有効にする場合は気をつけてください

アクセスポイントのMACアドレスのフィルタ機能を使うと、特定の無線LANアダプタだけ通信することができるようになります。従って、設定を誤ると無線通信ができなくなります。

無線通信ができなくなった場合は、有線LAN側のコンピュータから、アクセスポイントのMACフィルタの設定を確かめます。GW-AP540aの『アクセスポイントの設定』手順を参照し正しく設定してください。

ファイアウォールを使われていますか

ご利用のネットワークやコンピュータにファイアウォールが設定されている場合は、通信ができないときがあります。ファイアウォールの設定を無効にして確かめてください。

無線LANアダプタのユーティリティに何も表示されません
無線LANアダプタはセットされていますか
無線LANアダプタがコンピュータにセットされていない場合、ユーティリティを起動しても何も表示されません。
無線LANアダプタをコンピュータにセットしてください。

アクセスポイントのドライバはインストールしないでよいのですか

アクセスポイントのドライバはありません
設定はコンピュータのブラウザから行います。

ブラウザからアクセスポイントの設定画面が表示できません

アクセスポイントは正しく設置されていますか
アクセスポイントとコンピュータの間に遮蔽物がある場合、電波の感度が弱くなります。アクセスポイントの設置場所の変更やアンテナを調節をしてください。

コンピュータのIPアドレスは確認しましたか
アクセスポイントのIPアドレスのデフォルト値は「192.168.1.20」です。アクセスポイントを設定する前に、コンピュータのIPアドレスを変更しなければならない場合があります。GW-AP540aの『アクセスポイントを設定するための準備』手順を参照し、正しく設定してください。

ブラウザのプロキシサーバは設定されていますか
プロキシサーバが設定されている場合は、設定画面が表示されないときがあります。一時的にプロキシサーバの設定を無効にして確かめてください。

Windowsと一緒に起動しているアプリケーションはありますか

ご利用のコンピュータにセキュリティ対策アプリケーション、高速化アプリケーションなどインストールされている場合は、設定画面が表示されないときがあります。一時的にアプリケーションの設定を無効にして確かめてください。

ファイアウォールが使われていますか

ご利用のネットワークやコンピュータにファイアウォールが設定されている場合は、設定画面が表示されないときがあります。一時的にファイアウォールの設定を無効にして確かめてください。

通信はできますがアクセスが遅いです

アダプタユーティリティから確かめてください

無線LANアダプタユーティリティを使うことで、無線LANの接続状態が確認できます。遮蔽物のため電波の感度が弱くなっている場合は、設置場所を変更してください。また、電波の感度がよい場合はアクセス先のネットワーク自体、遅い場合があります。

アクセスポイントのLAN LEDは緑色で点灯、点滅していますがアクセスポイントのLAN LEDが緑色で点灯または点滅している場合は、100MbpsでLANのリンクが有効です。オレンジ色で点灯または点滅している場合は、10MbpsでLANのリンクが有効です。

10Mbpsでリンクが有効になっている場合は、接続先のポートが100Mbps対応になっているか、LANケーブルはカテゴリ5以上のものが使われているか確かめてください。

アクセスポイントのネットワーク設定はどうすればよいですか

アクセスポイントのDHCPサーバを有効にする場合は気をつけてください

アクセスポイントのDHCPサーバ機能を有効にした場合は、デフォルトゲートウェイとDNSサーバーのIPアドレスを正しく設定してください。

設定を誤ると、有線LAN側のコンピュータも、無線LAN側のコンピュータもインターネットへ接続できなくなる場合があります。

仕様

B

仕様

< 準拠する規格 >

IEEE802.11/802.11a、IEEE802.3 10Base-T、IEEE802.3u
100Base-TX準拠

< 転送速度 >

6/12/18/24/36/48/54Mbps

< 周波数帯 >

5150 ~ 5250MHz

< チャンネル数 >

4ch

< 伝送距離 >

高感度アンテナを搭載し、54Mbps使用時に最大18mの伝送が可能。
(屋内使用時、見通し距離)

環境により上記距離を満たせない場合があります

< アンテナタイプ >

無指向性アンテナ

< 変調方式 >

OFDM

< LEDインジケータ >

READY

LAN

WLAN

< 消費電力 >

8W

< 外形寸法 >

205mm × 136mm × 40mm

< 重量 >

280g

< 動作温度 >

0 ~ 40

< 動作湿度 >

35 ~ 85% (結露しないこと)

< EMI >

FCC Class B

VCCI Class B

設置環境への注意

無線LANはケーブルの配線や工事などが楽に行えるため、簡単に設置し、使うことができます。

しかし、設置場所や通信したいクライアントの間に以下のような遮蔽物があるとき、通信速度の低下や通信不可などの問題が生じる場合があります。

安定した通信をするには、できる限り環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
石材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

弊社へのお問い合わせ

弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PCIダイレクト

<http://direct.planex.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム

<http://www.planex.co.jp/lan.htm>

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム

<http://www.planex.co.jp/support/techform.htm>

受付：24時間

電話

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

FAX

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

お問い合わせ前のごお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注) 上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質 問 表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	54Mbps 高速無線LAN アクセスポイント
型番 <small>Product No.</small>	GW-AP540a
製造番号 <small>Serial No.</small>	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS		バージョン
OS		バージョン

質問内容

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

初期不良・修理依頼の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

ブラネックスコミュニケーションズ(株) サポートセンター

フリーダイヤル・0120-415977 FAX・03-5614-1018

Web・<http://www.planex.co.jp/support/repair.htm>

2. ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担をお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧下さい

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日 より 1年間
製品名 Product name	54Mbps 高速無線LAN アクセスポイント
型番 Product No.	GW-AP540a
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<div>□□□ - □□□□</div> <div>都 道 府 県</div>
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

Web Caster GW-AP540aをご購入いただいたお客様へ

SS Manual No.PHM-03-05-13-JF-FT-540a Version 1.1

この度は、高速無線LANアクセスポイント「Web Caster GW-AP540a」をご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品はワイヤレスによる高速なLAN環境を実現するIEEE802.11a準拠無線LANアクセスポイントです。本製品を利用してインターネット接続をされる場合には「Web Caster 700」などのブロードバンドルータ製品とあわせてご利用いただく必要があります。本書にはその際の設定手順やご注意いただくポイントをまとめてありますので、取扱説明書とあわせてご覧ください。

同梱のLANケーブルについて

本製品には、カテゴリ5のLANケーブル（ストレート）が添付品として同梱されています（注1）。これは本製品とお客様にてご用意いただいたブロードバンドルータを接続する場合に使用します。接続方法については、次に説明する「ブロードバンドルータを利用してインターネットに接続する」をお読みください。

注1）本製品のパッケージ及び取扱説明書に本添付品に関する記載はありません。

ブロードバンドルータを利用してインターネットに接続する

お客様にてご用意いただいた「Web Caster 700」などのブロードバンドルータとの接続には、以下に示す手順による設定が必要となります。本書の説明に沿って接続していただくようお願いいたします。なお、本製品では無線区間でのDHCPによるIPアドレス自動設定はご利用になれません。本節の5項の内容に従い、固定のIPアドレス設定による運用をお願いいたします※。
※今後バージョンアップによりDHCPによるIPアドレス自動設定に対応予定

1. パソコンにIEEE802.11a対応無線LANカード「Web Caster FT-STC-Pa」をセットアップします。
(ア) 「Web Caster FT-STC-Pa」のドライバをインストールします。
(イ) 「FT-STC-Paユーティリティ」をインストールし、ユーティリティの設定をします。その際、「FT-STC-Paユーティリティ」のSSIDは「ANY」と設定してください。設定後、パソコンを再起動してください。
(インストール時にSSIDは「WBC7000」と設定されています)
(ウ) パソコンのIPアドレスなどを以下の通り設定します。

IPアドレス	192.168.1.200
サブネットマスク	255.255.255.0

→詳細は「Web Caster FT-STC-Pa取扱説明書」をご覧ください。

2. 「Web Caster GW-AP540a」を起動した後、パソコンのブラウザから以下のURLを入力し、「Web Caster GW-AP540a」の必要な設定を行ってください（注2）。

URL	http://192.168.1.20/
-----	----------------------

→詳細は「Web Caster GW-AP540a取扱説明書」P.37以降をご覧ください。

注2）ここで「Web Caster GW-AP540a」を起動する際は、まだブロードバンドルータと接続しないでください。

3. [2.] で設定した内容に従い、パソコンの「FT-STC-Paユーティリティ」の設定を変更してください。
→詳細は「Web Caster FT-STC-Pa取扱説明書」P.69以降をご覧ください。

4. ブロードバンドルータを起動し、「Web Caster GW-AP540a」とLANケーブルにて接続した後、「Web Caster GW-AP540a」を再起動します（電源をオフにしてから再度電源をオンにします）。

5. パソコンのIPアドレスなどの設定を、以下の通り変更します。

IPアドレス	:ブロードバンドルータのLANポートと通信可能なIPアドレス
サブネットマスク	:ブロードバンドルータのLANポートに設定されたサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	:ブロードバンドルータのLANポートに設定されたIPアドレス
プライマリDNSサーバ	:お客様のブロードバンドルータの取扱説明書をご覧ください
セカンダリDNSサーバ	:お客様のブロードバンドルータの取扱説明書をご覧ください

（例:Web Caster 700と接続する場合）

IPアドレス	192.168.1.200
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNSサーバ	192.168.1.1
セカンダリDNSサーバ	無し

→詳細はブロードバンドルータの取扱説明書をご覧ください。

上記設定完了後、ブロードバンドルータの設定を行って下さい。

設定画面の一部訂正について

本製品の設定ページ内一部表記に誤りがございますので、以下の通り訂正させていただきます。
本訂正内容は表示箇所だけです。特に機能や設定内容等への影響はありません。

■推奨ブラウザ

- 誤: 800×600又は1024×768 16bitで**IE4.0又は、Netscape4.0**で観覧されることを推奨します。
正: 800×600又は1024×768 16bitで**IE5.0又は、Netscape6.0**で観覧されることを推奨します。

■HELP文内

●IPアドレス

- 誤: IPアドレスを自動的に割り振るようにするにはDHCPクライアント機能を有効にします。ネットワーク内のDHCPサーバから自動的にIPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイを得ることが出来ます。
デフォルトは"無効"です。
正: IPアドレスを自動的に割り振るようにするにはDHCPクライアント機能を有効にします。ネットワーク内のDHCPサーバから自動的にIPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイを得ることが出来ます。
デフォルトは"有効"です。

●認証タイプ

- 誤: IEEE 802.11標準に準拠する暗号（WEP）は“共用キー”及び“オープンキー”を**標準40-bitと工業標準104-bitと拡張128-bit**とのキーの長さでサポートします。
正: IEEE 802.11標準に準拠する暗号（WEP）は“共用キー”及び“オープンキー”を**標準64bitと工業標準128bitと拡張152bit**とのキーの長さでサポートします。

●アクセス御制リスト（ACL）

- 誤: ※注意 フォーマットは**12進数**です。例:00:90:D1:12:AB:89
正: ※注意 フォーマットは**16進数**です。例:00:90:D1:12:AB:89

ローミング機能について

本商品を使用時にローミングによるアクセスポイントの切替に時間が掛かる場合があります。時間がかかる場合には、ご使用の無線LANカードをコンピュータから一旦取り外してから、差し直してください。